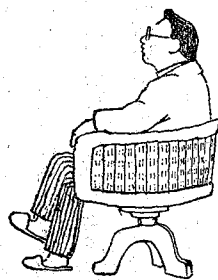


漫 録

路 政 夜 話 [四]

幹 事 武 井 群 嗣



一四 交通遊戯

○ 道路の使用並びに道路及道路交通の保全に關しては、我が國に於ては夙に道路取締令の規定を設け、之に違反した場合には夫々制裁を與へることとして、之が實行を期待し

て居ることは、今更言を俟たぬ處である。道路の使用並びに道路及道路交通の保全に關する一般國民の觀念が諸外國のそれに較べて未だ幼稚なる我が國に於て、之が實行を促す爲めに刑罰を以て威嚇するのは或は事情已むを得ない事かも知れぬが、併しながら、是等法令に列擧せる事項を一一仔細に檢すれば其の大部分は國民として當然心得べき事

項に屬し所謂交通道德の範圍に入るべきもので、決して刑罰を以てする法令の領域に委すべきものでは無いと信ずる例之、科料を以て威喝せる歩道車馬道の區別に依る交通、左避右就の交通、徐行及燈火使用の規定の如き、之を國民の必ず遵守すべき心得として所謂交通道德の項目に擧げ、其の涵養發達を圖るの最も緊要適切なるを、誰か否認し得るものが有らう。

○ 道路交通の保全に關する一般國民の觀念が我が國のそれに較べて著しく發達せりと謂はる、泰西諸國に於ても、尙斯の種の必要は常に痛感せられ、特に少年少女に對し及び彼等を通じて交通道德の普及徹底を圖らんとするの必要及其の方法の論難攻究せらるゝもの枚擧に暇あらざる狀況であつて、茲に紹介せんとする、米國 Memphis Safety Coun
cil の考案に成れる交通遊戲の如きも、偏に之が一助として兒童をして遊戲の裡に交通信號の正しき觀察を得しめ且之に服従するの觀念を養はんとするに在る。

交通遊戲の要領

〔目的〕 各自をして、敢て他人に依頼することなく、常に自ら交通巡查に注意して、其の交通信號を視、以て之に服従するの習慣を養成せんとするに在る。

〔遊戲場〕 室外ならば石灰等を以て、室内ならば白墨等を以て街路と其の交叉點とを表す線を引き、之に歩車道の區別及電車線を入れる。(街路には適當な町名を附ける)

〔遊戯者〕

交通巡查。一人。交通信號を熟知せる者を選任する。

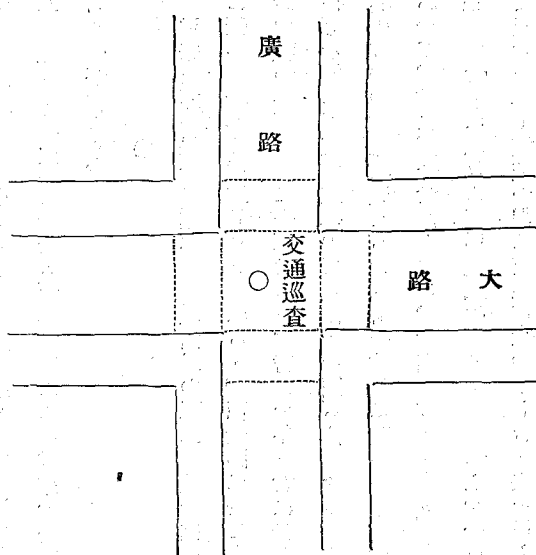
消防車。二人。二人前後に並び後者の兩手を前者の兩肩に置く。

消防車は豫期せざる時機に出現するものとす、但し全員が此の遊戲に馴れる迄は、餘り屢々現れぬやう心掛くること。

電車。消防車と同じ様に作る。

殘餘の者は二組に分れ、一組は歩行者他の一組は自動車

となり、各一人のキャブテンを自己の組より選出する。



〔規則及探點〕谷自は常に交通信號に注意することを要する。而して若し信號が東西に開かれてある時は、其の方向に動く總ての自動車及歩行者は速に通行すること、恰も實際の街路に於けるが如くなさねばならぬ。そこで、若し第一信號が南北に變つたならば、其の方面に行きつゝある總

ての自動車及歩行者は交叉點を通過し始める。自動車は自ら信號をなしつゝ、交通巡查を廻ることが出来る。

動きつゝある者は、信號が開かれてゐる間は、止まることが出来ぬ。が然し、一度信號が變つた時、點線を通過する者が有れば、其の者の屬する組が一點を失ひ、交通事故(Casualty)となる、但しゲームは續いて之を行ふ。歩行者が走つたり、衝突したり、交通を妨害したりする時亦一點を失ふ。

消防車のベルが鳴れば、巡查は總ての交通を停止せしむる信號をする。依て此の時には自動車は歩道の縁石を越えて止まり、歩行者は歩道上にて其の通過するのを待つを要するが、若し之に従はなかつた者は交通事故として數へられる。

〔審判員〕探點者は二人を要する。一人は歩行者組の事故を數へる爲め、他の一人は自動車組の事故を數へる爲めである。探點に付異議ある時は巡查が審判官となる。

ゲームは五分又は十分間續けて行ひ、其の最終時に於て

事故の數最も少なりしチームを勝とする。黑板又は大きな紙等に採點表を作り、遊戯者の眼に觸るゝやうに掲示し置く時は一入興味を増すであらう。(アメリカン・シ
ティより)

一五 模範的交通標識

○ 街路の交通標識を設くるに當つて、其の様式に一定の標準を置くことは、幾多の利益を齎すものである。此の事は固より自明の理で有るけれども、念の爲めに其の然る所以を述べるならば、自動車の運轉手は、一定標準の下に作られた交通標識の形状、大小、色彩及標識上の符號並びに警戒語に依て速かに其の何たるやを覺知し得るが、之に反して交通標識に何等の標準も與へられざる場合に於ては自ら種々雜多なる形状及大きさのものを作り、相異なる色彩を混用し複雑なる警戒語を用ゐる結果となることは争はれぬ所であつて、其の甚しきに至つては一般的同一目的の爲めに

も種々の異なる標識が作られ、相異なる特殊的目的の爲め必要なるに拘らず相似たる標識が設けられ、又相異なる標識の上に多種多様の警戒語を生ずることとなる。交通標識に統制なく其の結果斯の如きに至るならば、運轉手は如斯標識の如何なるものをも直ちに認識することを得ず、幸に之を認識し得ても更に其の都度一々之に注意して其の何たるかを讀んで後に判斷せねばならず、遂には交通標識存在の理由を滅殺し、所期の目的を達成し得ざるに至るであらう。

之に反し、交通標識に一定の標準あらんが、自動車を驅る者は、黃地に黒字を以て記したるものは警戒又は注意の爲めなることを即座に認知し、赤地に白字は單なる停止信號の標識で菱形の標識は危険信號、八角形は停止命令信號なることを知るべく、加之一定標準の下に作らるゝ標識に於ては、標語は最少限度に短縮せられ且常に同一たり得るし、更に符號の使用も統一したる標式に於て之を爲し得らるゝ利益が有るは言を俟たぬ所であらう。

米國 Pittsburgh に於ては、同市を通過する旅行者の便益を計り、危険地點を警戒し、交通規則を指示するに最も優良なる標識を要すること茲に久しかつたが、此の目的を以て交通計畫局 (Bureau of Traffic Planning) は市民交通改善委員、カーネギー工藝學院アシユ教授其の他の諮詢を経て次の如き模範的標準交通標識を制定した。

A 色 彩

色は標識中人の注意を喚起せしむるに最も有效なる要件の一である。而して市の交通標識はフーヴァー氏の全國道路交通安全會議其の他の團體の勸告に従ひ、色の配合に付ては次の標準を設けた。即ち

一 停止信號の爲めには明るい赤地に白字を用ゐること。
 二 直通交通 (through traffic) 街路の爲めに交通を停止せしむる標識は附圖の如くである。が、此の標識は重要な幹線街路に近接する道路に於て用ゐらるゝ。直通交通街路に

近接したる運轉手は先づ第一に大字の STOP を見るに違ひ無い。次に彼が愈々標識に接近した時、初めて小さく書かれた他の二語 through traffic を讀むことが出来る。そして彼は自分の停止せしめられたのは直通交通に交通の優先權を與へる爲めであつたことを悟るであらう。即ち此の標識は決して紛はしき所無きのみならず此の三語が同一距離に於て讀み得ることは、却て言葉の順序が混同される結果となつて宜しくない。此の場合に於ける言葉の順序は重要な一語 STOP が標識中最も廣き中央部に置かるゝことを要し、従つて出來得る限り大きな字で書かれる如く有らねばならぬことである。

二 注意を喚起し又は危険を警戒する爲めには明るい橙黄色の地に黒字を用ゐること。
 此の色の配合は最も工合がよい。蓋し橙黄色は人の注意を喚起する上に於て、殆んど他の如何なる色よりも力強く而かも黒字は此の橙黄色に對して最も優れたる對照を形成するから橙黄色地に黒字は最も明瞭に最も力強く人の注意を

喚起し警戒を爲さしむる効果を生ずるのである。附圖中前記停止信號の分を除き、他の標識は皆此の橙黄色の地に黒字を以て書かれたものである。

B 言 葉

交通標識の効果を出來得る限り多大ならしめんとせば、標識の意味を明白ならしむるやう其の言葉を最少限度に短縮し且最も普通に用ゐらるゝ言葉を使用することを更し、更に就中最重要な言葉は大なる文字を以て之を強めることが肝要である。即ち圖示せる標識に於て知り得る如く主要なる言葉の最大限は四語であり、七つの標識中五つ迄は僅かに二語に通じざることを知るであらう。若し夫れ *Public Safety D.P.S.* の如きに至つては、極めて小さな字體で記され、僅に標識上に其の存在を保てるに通ぎず、主要語の爲めに標識上から姿を没せざる限度に止められ、唯公衆安全部 (*Department of Public Safety*) の略字に依て、此の標識が疑も無く官公署指定のものたるこれを知らしむる爲め

に必要な限度に於て附記されて居るものと考へらるる。

是等の標識を考案するに當り、板の絶對的平面なること、字畫の幅の中庸を得たること、商用ゴシック又は太字を用ふること等は、それが最も容易に且速かに讀み得らるゝ點に於て最も適當且必要な形式であるも更に文字の間に相當の間隔を置くことは、文字を讀み易からしむる點に於て必要なことであるし、尙又其の幅が高さの二倍なる場合を除き同一幅員の文字よりも圖に見る如く比例のとれた文字の方が交通標識としては効果甚大であると信ずる。

C 符 號

交通標識に符號を用ふることは、次に述ぶるが如き理由に依り、其の價值甚だ大なるものと認めらるる。

一 英語を容易に讀み得ざる運轉手と雖、一度符號を見て其の意味を解し得たる後に於ては、標識の形、色に依てのみならず、特に其の符號に依て直ちに其の何たるかを認識し得べく假令運轉手にして全然英語を讀み得ざる者あり

とするも（如斯運轉手は必ずや免許狀を下付せられざるべきも）多くの場合に於て、符號を一見して直ちに標識に指し示せる警戒の意味を悟り得るであらう。

二 普通の運轉手は是等の標識を兩三回見馴れたる後に於ては、必ずや標識の形符號等に依て立所に其の意味を判断し標識上の文字等は敢て之を讀まざるに至る。而して如斯實情は運轉手をして標識を見る瞬間に於ても其の注意を道路上より奪ひ去らしめざるの効果を齎すこととなる。

以上の理由により、標識に用ゐらるゝ符號は標識の目的に直接の關係あるものたることを要し、其の符號の意味は普通の運轉手に依て直ちに了解し得るものなることを要する。例へば走れる兒童の姿は學校又は遊戯地帯の標識なることを直ちに知得せしむるが如き此の類である。従つて之と同様に、赤の十字が看護婦、病院等と常に聯想さるゝ點よりして、靜穩地帯 (Quiet Zone) の符號には十字形が適當であらう。而して此の場合に赤色を用ゐる事は亦標識に眼を注がしむる効果を増すに至ることは勿論であつて、假

令其の價値の増加は約二割方の割引をして考へなければならぬとするも、此の比較的小形の赤色符號ならば、現今交通信號上一般に採用さるゝ赤色の意味即ち停止信號とは強ち大なる紛更を來すとも考へられなと思ふ。尙斜線上に自動車^{モトカー}の形を描いたものは第二齒車^{セコントギヤ}の準備を警戒せるものである（尤も此の符號は稍々符號の簡明又は顯著と云ふ主要點に缺くる所が有るけれども）又矢の形は一方交通の標識それ自體をよく表はせる符號として用ゐらるる。

D 形 狀

- 標識の標準的形狀として、最近州際公道聯合局 (Joint Board on Interstate Highways) の提案したものによれば、
- 一 圓形は鐵道横斷の信號に限り用ゐられ
 - 二 六角形は停止信號にのみ用ゐられ
 - 三 菱形は危險警戒信號に用ゐられ
 - 四 正方形は其の他の注意信號に用ゐらるべきものとし
- てある。

而してビ市に於ても亦此の形状を採用して之が標準と爲さんとして居るのであるが、唯經濟上の關係などから或種の標識には完全なる正方形の代りに不規則なる矩形を以てする場合も有らうし、尙其の他必要なる標識例へば悪いカーブや曲り角等に對する標識も亦此の標準に倣ふて更に追加さるるであらう。

E 大 小

交通標識は色、形、言葉、符號等に於て標準化さるゝ必要あるのみならず、其の大きに於ても亦標準化せらるべきものである。而して圖に示せる "Stop-Through Traffic street, Second Gear Hill" 及 "Bad Crossing" は現在の計畫に於ては總て約三呎平方の面積を有するものとしてあるが、此の點に付ては寸法の全然等しき代りに其の面積の同じき標識を作ることも考へられ得る。蓋し標識の效用は、主として標識の面積と其の地色に比較し、適當なる比例を以て文字符號又は他の之と相對照する色の描かるゝ工合の如何に

依ること大なるものであるから、必ずしも相等しき寸法のみを墨守しなくもよい場合があるのである。

尙標識の大きに付てはビ市に於ても未だ最後の決定を見ず、或は本文に記すよりも稍小なる形も考へられ、大體に於て正方形及菱形の標識は二十吋四分三平方、八角形は幅約二十三吋四分一、矩形は幅約十九吋二分一長二十四吋を要することとしてある。而して如斯正方形との異同は主として是等兩形の標識上に載せんとする符號及文字の大小形状及費用の點から左右さるゝものであり、尙製作技術上材料の都合から多少の伸び縮みも許さねばならぬことは勿論である。最後に一方交通標識の矢形は長さ三十六吋とするがよい。

F 材 料

以上叙述したる標識は十八番鐵板上に硝子質磁器性エナメルを塗布して作るを可とする。其の理由は、一、効果を最大限度に收め得られること

二 容易に埃塵がつかぬこと

三 容易に且有効に掃拭が出来ること

四 少くも一兩年間エナメルを塗り替へなくもよいこと

等に在る。尤も此の仕様書によれば最初作製の際割合に多くの費用を要し又右に當りて碎かれ割らるゝ心配が有ると云ふ不利益が無いでも無いが、然し以上列擧した利益の外に尙十年間位は色が褪せず錆びず従つて汚なくならぬし満遍なく同一の色が塗れるし、異なる色同志の着き工合が極めて宜しいし火に對しては華氏一八〇〇度までは耐えると云ふ様な利益あることも考慮の中に加へなければならぬ

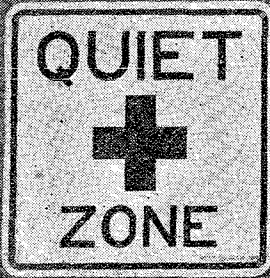
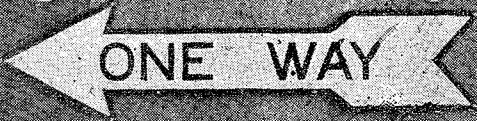
G 建設

交通標識は概して既存の柱などに附ける場合が多いが特に必要なる場所には、之が爲めの柱を建てねばならぬことは勿論である。而して警戒標は若し之を十呎乃至十二呎の高さに立てるならば其の効果は極めて少くなる。ざりとて住宅地域又は郊外地などに於ては、自動車の駐車さるゝ時

之が爲めに標識の隠れぬ様注意せねばならぬ。標識の最も重要なる部分が路面上約四呎の處に在るやうに建てるのは最も望ましい事であるが、標識が歩道上に擴がるやうな場合には、それが歩行者の邪魔にならぬやうに注意すべく、絶えず商品を載せて往來する車馬の通る處駐車之餘地を存する處、などに於ては標識をもつと高くせねばならぬ。

是等の標識の多くは縁石の處に置かるゝを常とするが、歩道の上又は車道の上に置いたり貨車や自動車が行行の際之と衝突するやうな場所は絶対に之を避けねばならぬ。尙標識は之に接近する交通車馬から直ちに見られる角度に置かれ、従つて夜は自動車のヘッドライトからの反射光に依つて見得るやうにすることを忘れてはならぬ。

學校の爲めの標識を建てる場合に考慮を要することは標識に移動性を與へ、動かし得る柱臺の上に之を附けて、車道の中央又は其の右側（廣き街路に在てはカーブから二、三呎離れた處）に置き、而かも學校から約百呎許り離れた地點に置くを要する。斯くする所以は運轉手に對する警戒



を出來得る限り有效ならしめんとするに在るは勿論であつて、此の案に依るならば道路上に置かる、標識は授業の始まる時より一時間半許り前に之を置き、兒童が家に歸つた後は之を取去るべく、換言すれば警戒の必要な時だけ標識を立てることにするを要し、且之を以て足りると信ずる。

北海道の道路

内務技師 宮本武之輔

北海道廳の囑託を受けて市瀨内務技監に隨行し去る五月九日から六月一日まで二十餘日を北海道各地の視察に費やした思ひ出を辿つて北海道の道路に就ての感想を記して見よう。

北海道は私に取つては未知未見の國土であつた。その未

固より斯くの如き場所の標識は兒童に毆られ破られ、傷けらるゝ事が多からうけれども、併しながら此の標識に依る效用は、斯かる損失を償ふて尙餘りあることは言を俟たざる處であると確信する。(同上)

見の國土に足を入れる事の樂しさを別にして、私はその旅行の目的が拓殖調査であり市瀨技監が、拓殖調査委員の一入であると言ふ事に少なからぬ興味を感じたのであつたわが國の人口問題食糧問題は上下を擧げて研究しなければならぬ國家的の憂患であつて、その解決は殆んど絶望たるに近ひのと、焦眉の急を要するとの二點に於てわが國の大脅威とす可きものである。